

## 【予防薬について一緒に考えてみよう！】

こんにちは(^◇^)

フェニックス動物病院 院長の板見でございます。

### ○**狂犬病**

**狂犬病についての知識を整理してみましたので是非参考にして下さい！**

#### ・**狂犬病 (Rabies virus) ってなあ〜に？**

人を始めとする哺乳類全般に感染し、ワクチン未接種後に感染・発症した場合の致死率はほぼ100%で、現在確立した有効な治療法が無い、最も致死率の高い病気です。日本では1956年以来の発症はありませんが、アジア・南米・アフリカ等の世界中で流行しており、約5万人以上が死亡している恐ろしい病気です。

また、感染症法第6条5項5号に基づき四類感染症に指定されており、犬等の狂犬病については、狂犬病予防法第2条の適用を受け、咬傷事故を起こした犬は、狂犬病感染の有無を確認するため、捕獲後2週間の係留観察が義務付けられております。

#### ・**日本の狂犬病の現状について…**

日本国内では、江戸時代の1732年に長崎県で発生した狂犬病が全国に蔓延した記録が残されております。明治時代になってからも各地で発生確認され、やがて1897年から公式な記録が残されるようになりました。1923年からの3年間だけで、全国で9千頭以上が感染し、1950年には、狂犬病予防法が施行され、

また、飼い犬の登録とワクチンの接種を義務化し、徹底した野犬の駆除によって1956年以来、犬・人間ともに狂犬病の発生はありません。しかし、犬による咬傷事故が届出だけで、毎年6千件以上報告されている現状にも拘らず、狂犬病ワクチンの接種率は近年低下しており、厚生労働省の調査によると2007年度の登録頭数は約67万頭、接種率75.6%だが、同年のペットフード工業会の全国調査による犬の飼育頭数は約1252万2千頭であり、これから割り出される未登録犬を含めた予防注射実施率は40%と、流行を防ぐために必要とされるWHOガイドラインの70%を遥かに下回っています。国内で感染する可能性が無くなったわけではないのです。

接種しなかった場合は、狂犬病予防法により、罰金刑などが科される可能性もあります。

#### ・**日本の我々に出来る狂犬病への対処ってなあ〜に？**

大きく分けると、現在の日本においては、狂犬病予防法によって、予防・感染発生時の対処および蔓延防止の手段などが定められていますが、このうち一般人である私たちにできることは、初制する前の予防、つまり、狂犬病予防法という法律で義務付けられていて、飼い主として登録するならば、接種しなければいけませんね。接種をしていない犬は野犬としてみなされ処分の対象となりますので絶対に接種する必要があります。

## ○ **フィラリア**

**フィラリア予防についての知識を整理してみましたので是非参考にしてください！**

### ・ **フィラリア症 (f i l a r i a) って何？**

フィラリア症 (f i l a r i a) とは…シナハマダラカ・コガタアカイエカ・トウゴウヤブカ等の蚊が、

吸血する際、犬の体内に犬糸状虫 (=フィラリア) が入り込み、成長した虫が、最終寄生部位 (=心臓・肺動脈) に寄生し、右心不全を始めとして、肝臓・腎臓・肺等に障害を発生させる病気のことです。因みに、犬の種類・年齢・体重やその時の体調に拘らず感染するリスクのある病気です。

### ・ **フィラリア症 (f i l a r i a) に感染するとどんな症状が出るの？**

フィラリア症 (f i l a r i a) は、感染幼虫が犬の体内に入ったからといって、すぐに体調に変化が出るものではありません。フィラリアが、最終寄生部位に住み付いて、何年もかけて病気が進行した時 (=心臓や肺の血管がボロボロになった時) に、初めて気付くことが多い病気です。従って、予防せず、検査もしていなかった場合、ひどい症状出た時に、初めて気付くこともあるのです。

### ・ **犬の体内に入った感染幼虫はどこに行くの？**

犬の体内に入った感染幼虫は、皮膚の下 (筋肉や脂肪の周囲等) で生活しながら、2回の脱皮を繰り返して、最終寄生部位に移動できる準備 (準備期間は約2ヶ月必要とされている) を整えます。準備が出来たフィラリアは、血管を通して心臓や肺の血管に移動して行きます。(ここまでに約半年かかると言われています。) その後、雄と雌のフィラリアが揃った時、新しいマイクロフィラリアが生まれ始めます。このマイクロフィラリアが蚊に吸血されることで、次の犬にフィラリアが広がってしまうことになります。

### ・ **フィラリア (f i l a r i a) が寄生した犬はどうなるの？**

完全に成熟したフィラリアは、体長15～30cm程度のソウメンみたいな形をしています。多くの成虫はひっそりと暮らしていますが、長い時間を経て、肺の血管や心臓の内面を傷つけています。その結果、体中に血液を送り出す心臓や肺の働きが邪魔されてしまい《乾いた咳をする》《運動を嫌がる》等の軽い症状から腎臓や肝臓

の動きまで影響が出ることで、より深刻な症状が見られるようになってきます。つまり、深刻な症状がみられるのはフィラリアが感染してから何年も経ってからの場合が多いのです。

ですから、何の予防もせずに犬を飼った経験があり、全く症状の発現に気付かなかった方々が予防する必要が無いと勘違いしてしまうことがあるのです。

また、まれに、ひっそり暮らしていたフィラリアが突然暴れ出し、急激な症状の悪化（①咳が出る②元気が無い③食欲が無い④お腹が膨らんで来た⑤尿に血液が混じる）等が見られることがあります。この場合は、救急治療が必要になります。

### ・フィラリア (f i l a r i a) って予防できるの？

予防できます。予防法には、大きく分けて 3 種類の方法があり…

① 毎月 1 回フィラリア予防の内服薬を経口投与し、毎年春先にフィラリアの血液検査を実施する

(=シーズン予防法)

② 一年中欠かさずに、毎月 1 回フィラリアの予防薬を経口投与することにより、春先の血液検査をせずに済む

(=通年予防法)

③年 1 回の注射接種により予防する方法が可能です。

### ・フィラリアの3つの予防法のメリットとデメリットは何？

① 一つ目のシーズン予防法は、多くの動物病院で実施されている方法です。それぞれの地域により差がありますが、この予防方法は蚊があまり飛んでいないと想定される月だけ錠剤の内服を中止します。当然、内服を中止している月があるためマイクロフィラリアに感染する可能性はあるため、春先には、毎年欠かさずフィラリアに感染しているか否かを確認するための血液検査を行わなければなりません。そして、もしフィラリアの血液検査結果が陽性で感染していることが判った場合は、その翌月から毎月内服していた予防薬の他に毎月抗炎症剤等の内服薬が追加処方され、フィラリアの血液検査結果が陽性から陰性になるまで毎月血液検査を受けなければならず飼ってしまいます。…つまり、毎月ワンちゃんは採血され、内服薬も増えフィラリア感染によるワンちゃんの循環障害等の心配をし続けなければならなくなってしまう可能性があり、血液検査代等の医療費負担も余分にかかる方法です。

② 二つ目の通年予防法は、当動物病院で推奨している予防方法です。シンプルに毎月欠かさずにフィラリア予防の錠剤を内服していただくだけです。毎月予防を欠かさず行うことにより、ワンちゃんのフィラリア感染の可能性が無くなるので、当然、毎年春先恒例のフィラリア血液検査を受ける必要もなくなります。つま

り…ワンちゃんの感染の心配もなくなりますし、血液検査代等もかからなくなるので、オーナー様の経済的負担も軽減いたします。

- ③ 三つ目の注射薬による予防法は、フィラリアが発見された当初に唯一あった予防法で古典的なものです。一年間効果のある注射液を一度に注入いたしますので、当然、その副作用のリスクも高いと思われます。当時はアナフィラキシーショックによる死亡例もあり、現在では、後に発売された内服薬による予防法を選択されている方が多いのが現状です。しかし、多忙等の理由で、この方法を選択される方もいらっしゃいます。

### ・ **フィラリア ( f i l a r i a ) 予防薬にはどのようなものがあるの？**

大きく分けて3つのタイプがございます。

- ① 一つ目のタイプは、内服薬です。形状は、おやつタイプ・ジャーキータイプ・錠剤タイプがあり…当動物病院では、普段イベルメック DSP・パナメクチン錠等のご用意がございます。
- ② 二つ目のタイプは、首の後ろ等に滴化する液体タイプのものです。…当院では、ネクスガードスペクトラ等のご用意がございます。
- ③三つ目のタイプは、注射を接種するタイプです。

## ○ **混合ワクチン**

**混合ワクチンについて一緒に考えて行きましょう！**

### ・ **混合ワクチン ( V a c c i n e ) ってなあ〜に？**

・ワクチンとは…毒性を無くしたか、あるいは弱めた病原体（ウイルス・細菌等）から作られた弱い病原体（抗原）をあらかじめ接種することにより、動物の体内に、『こんな敵が攻め込んで来る可能性がありますよお〜！』と教えてあげ、それと戦うための武器（抗体）をあらかじめ体内に造っておき（抗原抗体反応と言います）、接種しておくことにより、いざという時のために備えるためのものです。

### ・ **ワクチン ( V a c c i n e ) を接種しておくとかいいことあるの？**

勿論あります。あらかじめワクチン接種さえシッカリしておけば、ワクチン接種により体内に合成され貯蔵されていた武器（抗体）が、様々な感染症に対しての備えになります。動物たちを感染症に罹患しにくくし、もし仮に発症したとしても、重篤な症状に陥るリスクを軽減してくれますので、我が子も苦しまなくて済み、オーナー様も我が子の健康に関しての不安を払拭でき、また、結果的に経済的負担（治療費）も軽減することができますので、当院では定期的なワクチン接種をお勧め致します。

## ・どんな種類の混合ワクチン (Vaccine) があるの〜どのワクチンがいいの？

11種・8種混合ワクチン・6種など様々な種類の混合ワクチンが存在いたします。例えば、犬の場合ですと…ドッグランに行かれる方・狩猟にワンちゃんをお連れになられる方・お友達が頻繁にワンちゃんをご自宅にお連れになられる方・ワンちゃんが社会的でお散歩の時にすれ違う際に他のワンちゃん達とご挨拶をし、接触することによりコミュニケーションとる可能性のある場合・公園・山林・田畑等の自然に恵まれた地域にお住いの方等の場合ですと、6種混合ワクチンよりは8種ワクチンの方がお勧めです。

理由はシンプルです。予防するウイルスの数が多い方が、多種類のウイルスに感染・発症する可能性を低減できますので安心して日々の生活が送れるからです。病気には予防できるものとできないものがございます。ラッキーなことに予防できる病気なので予防することをお勧めいたします。

## ○ノミ・マダニ

ノミ・マダニについて一緒に考えて行きましょう！

## ・ノミ (Siphonaptera) / マダニ (Ixodidae) ってなあ〜に？

・『ノミ (Siphonaptera)』は犬や猫だけでなく人間にも寄生し吸血する昆虫です。特に、日本で多い猫ノミの体長は、約1〜3mmで褐色の6脚の足を持っており、まるでスイカの種を小さくした様な姿をしており、捕まえようとしても、動物の毛の間を物凄いスピードで逃げ回ります。また、ブラッシング時に採れる黒い塊をウエットティッシュに乗せ、赤茶色に滲んで来るようでしたら、それは血液の色素に起因するものと推測され、それがノミの糞であることが判り、ノミの存在が確認できます。

・『マダニ (Ixodidae)』は、体長約3mm、犬の耳根部・猫の眼周囲だけでなく、人間・野生動物にも寄生、皮膚を溶解・切開し、突起物を挿入後、吸血 (最大約5ml) し、約10mm (1円玉程度の大きさ) になります。その際、セメント様の物質を分泌し強く皮膚に固着するため、無理に引き抜こうとするとマダニの一部が皮膚内に残って化膿したり、マダニの体液を逆流させてしまう恐れがあります。また、ノミやマダニは、同居の犬猫間だけではなく、オーナー様自身も屋外から持ち帰ってしまう可能性があります。

・また、近隣の散歩のみ、自宅内の庭、ベランダでさえ寄生される恐れがあるため、完全に室内飼の犬猫でも感染の可能性がございます。

## ・今話題のマダニ (Ixodidae) って、そんなに本当に危険な昆虫なの〜？

確かにマダニは要注意な昆虫です。最近では、人間の死者も出たという重症熱性血小板減少症候群 (SFTS) は、このマダニを媒介して感染する人畜共通の感染症です。国立感染症研究所のまとめによると、感染者は、年

間10～20人程でしたが、平成20年に100人を超え、2014年は10月2日までに211人と初めて200人を超え、関東でも、千葉県で3人、神奈川県で1人が感染。マダニによる感染症では昨年、重症熱性血小板減少症候群（SFTS）が国内で初めて確認され、10月15日までに累計104人の患者が報告されており、30人が死亡しています。しかし、SFTSも日本紅班熱も予防接種はなく、予防法はマダニに刺されないことしかありません。また、国立感染症研究所の安藤秀二室長は、『日本紅班熱は温かい地方などでは冬も感染者が出る』として、冬季も注意が必要と話しています。《産経新聞2014年11月12日7時55分配信yahooニュースより抜粋》

#### ・ **どんな種類のノミ（Siphonaptera）・マダニ（Ixodidae）予防薬があるの？**

当院には、フロントラインプラス、フィプロスポットプラス等の幼虫・卵およびお腹の虫まで駆除可能なお薬をはじめ、その他フィラリアも含め全ての予防ができるオール人ワンタイプのネクスガードスペクトラのご用意がございます。